

臨床研究等の情報公開

研究課題名	がん治療を受ける患者・家族の在宅での急変時対応に関する地域連携モデルの構築
研究機関	公立大学法人青森県立保健大学 健康科学部 看護学科
研究内容	<p>国民の2人に1人ががんに罹患する時代を迎え、今後、がん治療を受けながら在宅療養生活を送る患者さんとそのご家族が増加し続けることが予測されます。患者さんやご家族が夜間休日に体調不良になった場合の対処方法が分からず不安な時間を過ごすこと、在宅医療を担う医師や訪問看護師が24時間いつでも、すべての事案に対応することが事実上困難な状況にあることを背景に自宅での急変時対応が大きな課題となっており、急変時に対応できる受け皿の整備が必要と考えました。そこで、地域において、がん患者さんやご家族が未然に急変を防ぐための自己管理方法や急変発生時の対処方法を獲得したり、がん治療と在宅医療、救急医療の各専門職が連携し、急変時対応が直ちに展開される仕組みづくりが必要であると考え、がん治療を受ける患者さん・ご家族の在宅療養中の急変時対応の認識や急変時対応の現状と課題および急変時対応における地域連携の現状と課題を明らかにすることを目的に調査を実施します。</p>
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和7年3月31日
対象者	青森市民病院で、がん治療を受けながら自宅等で療養生活を送る患者さん・ご家族 各5名程度（計10名程度）を予定しています。
実施方法	インタビューガイドを用いた個別インタビューを実施します。がん治療を受けながら在宅療養する患者さん・ご家族のがんや治療に起因した急変時対応の認識や急変時対応の現状と課題及び、急変時対応における地域連携の現状と課題に対する考えや思いを語ってもらいます。インタビューの時間は30～60分程度を予定しています。
参加撤回の自由	参加は自由であり、参加しない場合でも現在受けている治療や看護に何ら影響は及ぼしません。また、一度研究の参加に同意し、同意書に署名をした後でも同意撤回書へのサインにより、いつでも参加を取り消すことができ、参加を取り消しても不利益を被ることはありません。
問合せ先	<p>本研究の調査に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。</p> <p>研究代表者： 青森県立保健大学健康科学部看護学科 千葉 武揚 連絡先： 〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬 58-1 電話： 017-765-2038 Eメール： t_chiba2@auhw.ac.jp</p>